事業計画(道路)

(高速道路の復旧)

- 1. 東北自動車道 他 11 路線
 - ①箇所名:東北自動車道、仙台北部道路、三陸自動車道、仙台東部道路、東 北中央自動車道、山形自動車道、磐越自動車道、北関東自動車道、 東水戸道路、東関東自動車道、首都圏中央連絡自動車道、京葉道路 の被災箇所
 - ②応急復旧により、平成 23 年 3 月 30 日までに一般車両の通行が可能となった。
 - ③平成 24 年 12 月 22 日に本復旧を完了した。

2. 常磐自動車道

- ①箇所名:常磐自動車道の供用中区間の被災箇所、及び、整備工事区間
- ②供用中区間の被災箇所については、応急復旧により、平成23年4月28日までに旧警戒区域*にかかる区間(常磐道広野IC~常磐富岡IC)を除き一般車両の通行が可能となった。(旧警戒区域にかかる区間は、4月29日までに緊急車両の通行が可能となった。)
- ※ 平成24年4月1日の区域見直し前の警戒区域
- ③供用中区間の被災箇所(常磐道広野 IC~常磐富岡 IC を除く)については、 平成24年12月22日に本復旧を完了した。また、旧警戒区域にかかる常磐 道広野 IC~常磐富岡 IC については、環境省が実施した除染工事と並行し て復旧工事に着手し、平成26年2月22日に本復旧を完了した。
- ④整備工事区間について、相馬 IC~山元 IC 間及び旧警戒区域にかかる浪江 IC~南相馬 IC 間を平成 26 年 12 月 6 日に開通させた。更に、常磐富岡 IC

〜浪江 IC については、当初の目標を約2ヶ月前倒し、平成27年3月1日 に開通させた。これにより常磐自動車道は全線開通した。

(直轄国道の復旧)

3. 一般国道 4号 他 9路線

- ①箇所名: 一般国道4号、13号、47号、48号、49号、50号、51号、 108号、283号、357号の被災箇所
- ②応急復旧により、平成23年3月23日までに通行が可能となった。
- ③一般国道13号、47号、48号、50号、51号、283号、357号は、 平成24年度内に本復旧が完了した。
- ④一般国道4号、49号、108号は、平成25年度に本復旧が完了した。

4. 一般国道6号

- ①箇所名:一般国道6号の被災箇所
- ②応急復旧により、平成23年4月10日までに旧警戒区域を除き通行が可能となった。旧警戒区域内は、平成23年12月26日までに2車線を確保した。
- ③平成25年3月2日に震災による規制箇所は全て解消した。
- ④平成25年度内に本復旧が完了した。

5. 一般国道45号

- ①箇所名:一般国道45号、三陸縦貫道の被災箇所
- ②応急復旧により、広域迂回路を含め平成23年3月25日までに通行が可能と

なり、7月10日には広域迂回が解消。また、三陸縦貫道においては、平成23年3月30日までに通行が可能となった。

- ③平成24年9月28日に震災による規制箇所は全て解消した。
- ④橋梁等大規模な被災筒所は、地域の復興計画を踏まえて復旧予定
- ⑤45号の本復旧については、概ね平成28年度の事業完了を目指す。
- ⑥45号整備については、各地方公共団体が策定する復興まちづくり計画に合わせ、引き続き用地買収を進めるとともに、工事の全面展開を図り、本格的に整備を推進。

(復興道路・復興支援道路)

- 6. 復興道路(新規着手区間)
 - ①箇所(工区)名:三陸沿岸道路(歌津~本吉等 約 148km)
 - ②平成23年度第三次補正予算において事業化し、順次、測量、設計説明会、 用地幅杭の設置に着手。
 - ③平成24年度は、順次、用地買収を進め、一部の区間で工事に着手。
 - ④平成 25 年度は、用地買収を進め、順次工事へと移行。
 - ⑤平成26年度より、橋梁等の主要な構造物に着手。
 - ⑥平成27年度以降は、引き続き、用地買収を進めるとともに、橋梁等の主要な構造物について、本格的に整備を推進。
 - ⑦全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。 (平成 29 年度供用予定:山田宮古道路(14.0km)、宮古田老道路

7. 復興道路(事業中区間)

- ①箇所(工区)名:三陸沿岸道路(釜石山田道路、八戸南道路、仙塩道路(4 車線化)等約134km)
- ②全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。

(平成 24 年度供用:八戸南道路(5.3km))

(平成 25 年度供用:高田道路(4.1km)、尾肝要道路(4.5km)、普代バイパス(4.2km)、八戸南環状道路(4.8km))

(平成 26 年度供用: 矢本石巻道路(4 車線化)(14.4km)、仙台松島道路(4 車線化)(6.8km))

(平成 27 年度供用予定: 仙塩道路(4 車線化)(7.8km)、登米志津川道路 (11.1km)、吉浜道路(3.6km))

(平成 28 年度供用予定: 南三陸道路(3.0km)、矢本石巻道路(4 車線化) (12.1km))

(平成 29 年度供用予定:南三陸道路(4.2km)、本吉気仙沼道路(7.1km))

8. 復興支援道路(新規着手区間)

- ①箇所(工区)名:東北横断自動車道釜石秋田線(釜石~釜石西等 約 17km) 東北中央自動車道(相馬~相馬西等 約 23km) 宮古盛岡横断道路(宮古~箱石等 約 48km) 宮城県北高速幹線道路(II期(中田工区)等 約 11km)
- ②平成23年度第三次補正予算において事業化し、順次、測量、設計説明会、 用地幅杭の設置に着手。
- ③平成24年度は、順次、用地買収を進め、一部の区間で工事に着手。
- ④平成25年度は、用地買収を進め、順次工事へと移行。

- ⑤平成 26 年度は、橋梁等の主要な構造物に着手。
- ⑥平成27年度以降は、引き続き、用地買収を進めるとともに、橋梁等の主要な構造物について、本格的に整備を推進。
- ⑦全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。 (平成 29 年度供用予定:東北中央自動車道(阿武隈東~阿武隈 (5.0km))

9. 復興支援道路(事業中区間)

①箇所(工区)名:東北横断自動車道釜石秋田線(遠野~宮守 約9km) 東北中央自動車道(阿武隈東道路等 約23km) 宮古盛岡横断道路(都南川目道路等 約10km)

②全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。 (平成24年度供用:東北横断自動車道釜石秋田線(宮守~東和) (24.0km)、

宮古盛岡横断道路(簗川道路)(6.7km))

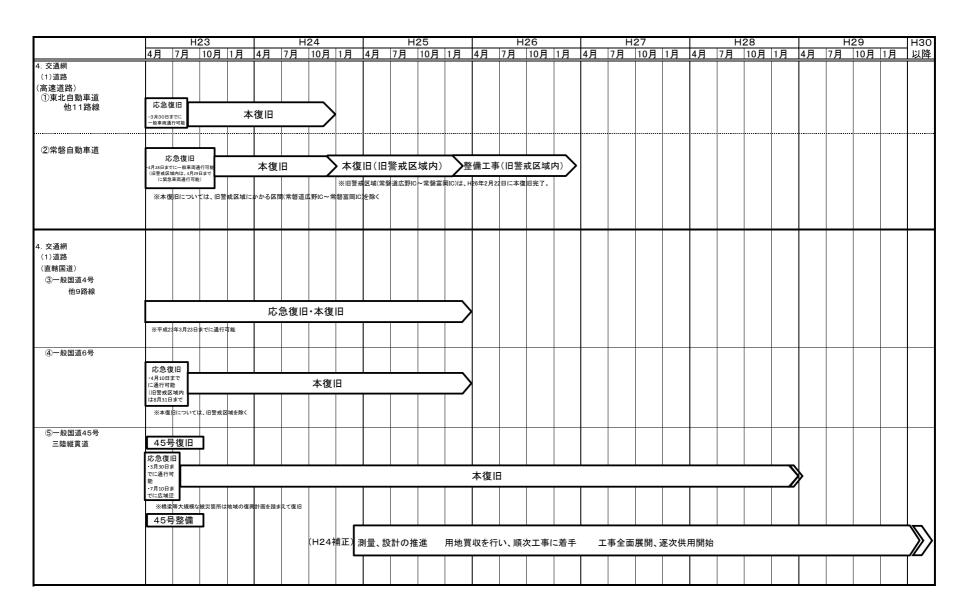
(平成 27 年度供用予定:東北横断自動車道釜石秋田線(遠野~宮守)9.0km)、宮古盛岡横断道路(都南川目道路)(2.6km))

(平成 28 年度供用予定:東北中央自動車道(阿武隈東道路)(10.7km)) (平成 29 年度供用予定:東北中央自動車道(霊山道路)(12.0km))

<u>10. I Cアクセス道路</u>

①箇所(工区)名:一般県道宮古山田線(豊間根工区 約1km) 市道北部環状線(山口工区 約3km) 一般県道大島波板線(波板工区 約3km) ②全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。

復興施策の工程表(道路)



		H2				H24			H25				H26				H27				H28					H29			
	4月 7	月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	以降
4. 交通網 (1)道路 (復興道路·復興支援道路) ⑥復興道路 (新規着手区間)																													
<三陸沿岸道路> ・歌津~本吉 等 約148km		測量、設計、用地買収を行い、順次工事に着手 主要構造物の本格的な整備を推進 逐次供用開始													開始														
																									-1	成29年度供用 以田宮古道路(宮古田老道路(日老岩泉道路(4.0km) 4.0km)		
⑦復興道路口(事業中区間) 《三陸沿岸道路》 - 金石山田道路 - 仙坦道路(4年線化) 等 約134km																				***************************************									
					用地・工事の推進														逐次供用開始										
					※八戸南道 ・平成25	路(5.3km) 年3月9日供用	1		・平成2: 尾肝要3	パス(4.1km) 5塩10月13日併 直路(4.5km) 5年3月2日供月	八戸南環	(4.1km) 年3月23日供) 状道路(4.8km) 年3月29日供)	用) 用	矢本石巻道	第(4車線化)(6: 3月30日供用 路(4車線化)(1 3月31日供用		*	(平成27年度供 ・仙塩道路(・ ・登米志津) ・吉浜道路(:	車線化)(7.8km 道路(11.1km)	i)	##	·南三陸道路	共用予定区間 (3.0km) (路(4車線化)(1:	2.1km)	-7	成29年度供用 有三陸道路(4.2 本吉気仙沼道)	km)		
8復興支援道路口新規着手区間) 《東北横崎台島車道差千秋田線》 ・遠子・愛石西等 約17km 《東北中央道》 ・相馬・和昌西等 約22km ・宮古遠岡横断道路》 ・宮古遠岡横断道路》 ・宮本和二等 約40km ・宮城県北西連幹線道路》 ・田朝(中田工区)等 約11km			Γ	測量、	設計、	用地買	収を行し	ハ、順次	江事に	着手			主要	構造物	の本格	的な整	発備を推	進			逐次	供用[- 開始						>>>
																									※平成29 ・東北	年度供用予定 中央自動車道:	区間 阿武隈東~阿	武隈)(5.0km)	
⑨復興支援道路口事業中区間)<東北横断自動車道釜石秋田線>・遠野~宮守 約9km																													
△東京 12 → 9-75-11 〈東北中央自動車道 - 阿武陵東道路等 約23km 〈宮古空間模断道路〉 - 都南川目道路等 約10km	用地・工事の推進														逐次供用開始								\mathbb{R}						
					平成24※宮古盛間村	年11月25日供	道路)(6.7km)	東和) (24.0km									東北横	E廃供用予定区 断道釜石秋田: 整間横断道路(者	線(遠野~宮守))(9.0km) 2.6km)	※平成28 ・東北:	年度供用予 中央自動車3	定区間 道(阿武隈東道	格)(10.7km)	※平成29 ・東北	年度供用予定 中央自動車道	区間 重山道路)(12.	(km)	
(朝にアクセス道路 <一般県道宮古山田線> ・豊間根工区 約1km ・市道北部環状線> ・山口工区 約3km ・ 一般県道大島波板線> ・ 波板工区 約3km																													
		測量、設計、用地買収を行い、順次工事に着手 工事全面展開 逐次供用開始														<i>_)}</i>													
	注)開通見																												

注) 開通見通しは、集中復興期間後(平成28年度以降)の復興関係予算の継続を前提に、標準的な工程を想定した場合の目安である。 「集中復興期間の総括及び平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方」の検討状況、予算状況及び施工上の条件変化等により変更がある。